

=====

スウェーデン大使館は、UNAC の独自の本部に協力

"Patrocinada pela Embaixada da Suécia União Nacional de Camponeses com sede própria"

=====

CanalMoz numero 1107 | Maputo, Sexta-Feira 13 de Dezembro de 2013

Maputo

26 年前に創設された UNAC(União Nacional de Camponeses)、小農らの状況改善のため闘ってきた農民組織は、木曜日に新しい事務所をスウェーデン大使館から提供を受けた。AGIR プログラムの下での、インクルーシブで責任あるガバナンスのアクションを支援するためである。

建物は、2 階建てで、850,000 米ドル (8500 万円) かかり、農業省の向かいに位置する。駐モザンビーク・スウェーデン大使 Ulla Andrén は、UNAC がこの建物を有効に活用し、組織として強化されることを期待していると語った。

スウェーデン大使は、「このような支援は、より公正で平等な社会を実現するために最大の役割を果たそうとする民衆の闘いにおいて、非常に重要である」と述べた。

UNAC の事務局長 Luís Muchanga は、この新しいステップが、小農らの抱える問題によりよく対応し、農業政策に良い介入を行うために必要不可欠なものと信じていると述べ、「団体独自のスペースを得たことで、我々はよりよく考察し、自らの計画を前に進めることが出来るようになるだろう。このスペースは、主権を意味する。農民 が自らの暮らしをどう発展させられるかを考える場所として、国の農業政策をより良く分析する場所として、である。」

モザンビーク政府を代表し、農業省事務次官の Daniel Clemente は、UNAC について、モザンビークの農民組織として最大の規模を持ち、(国民の) 食料安全保障を保障し、余剰を生産し市場化するため土地を耕す小農らの大多数を代表する組織であると再確認した。そして、UNAC は、政府との必要不可欠かつ恒常的な対話の特権的パートナーであると強調した。

スウェーデン大使館は、AGIR プログラムを通じ、人権リーグ (Liga dos Direitos Humanos) と青年議会 (Parlamento Juvenil) の建物の修復支援も行っている。